

新年明けましておめでとうございます。

昨年5月に世代循環を進める中でドン会32年目のバトンを引き継ぎ理事長に就きました。

おかげさまで昨年も、名古屋の「桃源郷」で1年間無事に活動することができました。暑さ寒さにかかわらず毎週20名以上が棚田に集い、復元棚田でのお米作り、安全でおいしい野菜作り、明るい林床をつくる里山管理、その他諸々の活動に励みました。人が適度に手を入れ利用することで保たれる里地里山の生物多様性こそ、わたしたちが未来の子どもたちへとつなぎたい「お宝」です。

コロナ禍が落ち着いてきた昨年は、ようやく従来とおりの形で自然塾を開催することができました。田植えに稲刈り、生き物観察教室、芋ほり、収穫祭、そば打ちなどなど、全世代参加の楽しい時間を持つことができました。

週末だけの農作業ですが、種籾から苗をつくって田植えをし、草取りと水の確保に汗をかいてその成長を見守ってきた者としてつくづく感じますのは、無事収穫は決して当たり前ではない、自然の恵みと、多くの人の気づきや働きあってのもので、実にありがたく思います。

そしてようやく得た収穫のなんと味わい深いこと！この感動は世界共通、人類普遍と言ったら大げさでしょうか。

そしてまた、棚田での活動は、栄養・運動・社会参加のフレイル予防3要素に加えて、「桃源郷」に居場所を得てリフレッシュできる時間でもあり、参加者の健康維持に役立っているようです。

今年も自然に教わりながら、棚田・里山を守り、自然塾を開講してさらに多くの仲間をつくれるよう取り組みます。引き続きこれからも皆さまのご協力を賜れますようお願い申し上げます。

みなさまのご健康とご幸福をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

2024年元旦

NPO 法人自然塾丹沢ドン会

理事長 可児康一郎